

水難事故を防ごう

着衣水泳体験

服を着たまま水の中に入る経験をするので、水難事故に遭わない気持ちと心構えを養ってもらおうと7月14日、天王小学校で着衣水泳体験が行われました。初めに講師から水難事故に遭わないための注意事項を聞いた後、プールに移動し服を着た状態で水に入りました。水の中で歩いたり走ったりしながら、水に落ちてしまったときはどのように動いたら負荷が少ないかを体験し、最後に大きな声を出して助けを呼ぶ練習をしました。



最後まで全力プレー

西三河中学校選手権大会豊田・みよし地区予選会

三好公園と総合体育館で7月16日、西三河中学校選手権大会豊田・みよし地区予選会が行われました。スポーツの実践を通して体力の向上とスポーツ精神の高揚を図ってもらおうと毎年行われているこの大会。今年はサッカーや卓球など13種目が行われ、この日はテニス、軟式野球、柔道の3種目を開催。どの種目にも多くの人が応援に訪れ、観客からの熱い声援を力に、選手たちはチームの勝利を目指し全力で戦っていました。



胸をときめかせて

小学校土別市派遣団結団式および出発報告会

北海道の自然や文化に触れることで視野を広げ、友好都市提携をしている土別市との交流を深めてもらうと毎年行われている小学生土別市派遣。7月22日、市役所で今回派遣される派遣団の結団式と出発報告会が行われました。市内8小学校の5・6年生代表児童32人の派遣団員は、7月25日から28日までの4日間の日程で土別市を訪れ、地元小学生との交流や、それぞれ自分たちで考えたテーマについて学んできます。



親子で楽しいひとときを

ふれあいバザール

地域緑化や農業の活性化を目的に7月23日、さんさんの郷でふれあいバザールが行われました。会場では五色トウガラシの苗の無料配布や胡蝶ランの苗が当たるくじ引きが行われ、長い列ができるほどの大にぎわい。他にも地元野菜を販売する店やミニSなどおよそ25の店が出店。新鮮でお値打ちに販売されている野菜を買う人や、動物と触れ合う人など、子どもから大人まで幅広い年代の人たちが楽しいひとときを過ごしました。



犯罪のない社会を目指す

社会を明るくする運動

毎年7月を強化月間として行われる「社会を明るくする運動」。その街頭PR活動が7月27日、市内各所で行われました。会場の一つとなったイオン三好店では、小中学校や三好高校のPTA役員や市の職員などおよそ20人が参加。訪れた買い物客に、うちわやクリアファイルなどのPR資材を手渡しながら「社会を明るくする運動です」「青少年の非行を防止しましょう」と笑顔で呼び掛けていました。



記録更新を目標に

小学校水泳大会

南部小学校で7月21日、第38回よし市小学校水泳大会が行われました。水泳競技を通して自己記録に挑戦し、市内の小学生同士の交流を深めてもらうと毎年行われているこの大会。今年は市内8小学校の4年生から6年生の代表児童およそ130人が参加しました。初めに南部小学校の橋本雅也くんと山口萌衣さんが元気良く選手宣誓を行った後、男女それぞれ種目ごとに分かれ、白熱した試合が繰り広げられました。

